



柏原白土

事業概要：シラス（白土）の採掘、販売

主要製品：シラスバルーンの原料、研磨剤（みがき粉）
陶磁器用釉薬

06

会社概要

2010年9月現在

設立 1887年（明治20年）

従業員数 3人

代表者 代表取締役社長 迫田 幸子

所在地 〒891-1302

鹿児島県鹿児島市

東佐多町2646

連絡先 TEL.099-295-1726

FAX.099-295-1726

kashiwasiro295@hya.bbq.jp

我が社の

PR!

地球からの贈り物、環境にやさしい100%天然素材です。
海水によって淘汰された白色の粒子です。



無添加クレンザー

製品
紹介

シラス（白土）を 研磨剤に！

シラス（白土）を研磨剤に！シラス（白土）を採掘・乾燥して、シラスバルーンの原料や研磨剤（みがき粉）として、県内外に出荷しています。大半はシラスバルーンの原料としての出荷で、研磨剤としての需要は主に県外です。

注文に応じて、500g、16kg、20kg、500kgの袋に入れて発送しています。乾燥をしていない商品は、18Lを袋に入れて対応しています。

セールスポイント 微細粒の白土で みがき粉に最適！

1877年（明治10年）に山中で偶然、白土の層を発見しました。その後、研磨剤として優れていることから、みがき粉として販売を始めました。

当初、採掘や乾燥はすべて手作業で非効率的でしたが、機械化が進み生産量が増えました。特に乾燥方法は、いろいろと試行錯誤を繰り返し、ようやく均質な製品が出来るようになりました。

私どものシラス（白土）は、粒度75 μ m以下の微細粒の白土で、ほとんど火山ガラス質から成り、70%がケイ酸です。



乾燥機械

社長からのメッセージ

原材料としてすぐ使用できるシラス（白土）

私どものシラス（白土）は一部の地域だけにしかない希少価値の高いものです。始良カルデラを形成させた噴火に伴う大規模火砕流堆積物よりも、約40万年古い火砕流堆積物です。一般のシラスと違い、粒子が細かく原材料としてすぐに使用できます。

アイデア次第では、色々な用途が見つかるのではないかと知恵を絞っています。



代表取締役社長
迫田 幸子さん

昭和初期に青年磨土組合を通じて磨土を旧日本軍に軍事物資として納めていました。

ここが
自慢!

取引先様からバルーン化しやすいとの評価をいただいております。研磨剤は茶渋がきれいに落ちると好評です。石油系洗剤が使用出来ない方々から喜ばれています。

採取現場



今後の
目標

県の地域資源で
新製品を開発

私どもは、これまで積極的に営業をしてきませんでした。

今後は、自ら商品開発をしていかなければならないと考えています。

会社案内図

